

## IV 資 料 編

1	函館市教育の沿革概要	111
2	函館市内の指定文化財	126
3	市立学校・幼稚園一覧	132
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	136
5	社会教育関係団体一覧	138
6	社会教育施設利用グループ一覧	139

# 1 函館市教育の沿革概要

嘉永元年 (1848)	○佐々木作右衛門が鍛冶町に私塾「藤村堂」開設
〃 3年 (1850)	○森菊三郎が内濶町に「猿山塾」を開設, 読み方, 書き方を教授
〃 4年 (1851)	○本道最初の心学道場「誠終舎」開設
安政元年 (1854)	○ペリー来航, 日米和親条約の締結で箱館開港
慶応2年 (1866)	○富原九一郎が大黒町に「富原私塾」を開設, 読み方, 書き方, 算術を教授
明治2年 (1869)	○蝦夷地を北海道, 箱館を函館と改称し, 開拓使を設置
〃 3年 (1870)	○柳田藤吉が「郷学校」(のちに郷塾と改称)を会所町に設け, 漢・英を教授
〃 4年 (1871)	○官立函館学校(本道最初の官立学校)創設, 漢・英二学を教授(官員の子弟のみ)
〃 5年 (1872)	○学制公布 ○函館病院附属医学所で教授開始 ○官立函館学校へ一般人の入学許可 ○私立戸井教育所開設
〃 6年 (1873)	○官立函館学校を「露学校」と改称(翌年, 官立松陰学校に, のち元町学校) ○露国宣教師, 元町に正教学校を開校 ○本道最初の中学校である官立変則中学校(3か年制)を富岡町に設立
〃 7年 (1874)	○変則中学校を富岡学校と改称, 14歳以上19歳以下の者が入学 ○米国メソジスト監督教会員が元町で「日々(にちにち)学校」を開始(現遺愛学院の前身)
〃 8年 (1875)	○函館最初の官立小学校である会所学校が開校(6歳以上13歳以下の児童)
〃 9年 (1876)	○官立小学教科伝習所を会所学校に開設(本道における師範学校の前身) ○公立松陰学校開校(最初の公立小学校)
〃 10年 (1877)	○公立内濶学校開校 ○私学愛陶舎, 鶴岡学校設立 ○私立夜学の弁天学校, 金蘭学校, 行余学校, 松濤学校(女子夜学校の最初)など開校(ともに小学校ではなく, 日用簡易の学科教授)
〃 11年 (1878)	○公立住吉学校(現青柳小学校の前身), 公立宝学校, 公立常盤学校, 公立亀田学校が開校 ○日本聖保禄会員が元町で教育の事業開始(現白百合学園高等学校の前身)
〃 12年 (1879)	○函館における最初の女子小学校である第一公立女学校が開校 ○函館における最初の夜間小学校である私立淳風学校が開校 ○私立函館商船学校, 公立上湯川学校が開校 ○函館公園内に開拓使仮博物館が落成(前年着工の函館公園完成) ○小学教科伝習所附属小学校開校(会所学校廃止)
〃 13年 (1880)	○私立臥牛学校開校 ○公立石崎学校, 公立湯川学校, 公立宇賀学校が開校 ○官立小学教科伝習所を官立函館師範学校と改称 ○小学教科伝習所附属小学校を函館師範学校附属小学校と改称 ○図書館の先駆, 思斉会が発足(翌年, 書籍館となり一般公開) ○戸井教育所を廃止, 公立戸井学校, 公立白浜学校, 公立瀬田来学校を開校 ○楯法華簡易学校開業
〃 14年 (1881)	○私立若山学校, 沢学校, 藤村学校など開校 ○官立函館師範学校内に一般青少年対象の私立函館夜学校を開設 ○函館教育協会(のちの函館教育会)発足

明治15年 (1882)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私立福田学校, 一貴学校が開校</li> <li>○私立遺愛女学校開校 (現遺愛女子高等学校, 現校舎は明治41年落成)</li> <li>○公立弥生学校開校</li> <li>○私立東川学校開校 (同年, 公立に編入して公立東川学校となる)</li> <li>○開拓使を廃止, 三県 (函館, 札幌, 根室) を設置</li> <li>○函館県に教育令実施</li> <li>○公立函館女学校開校 (翌年, 公立女子小学校と改称)</li> <li>○私立高砂学校開校 (翌年, 私立高砂小学校と改称, 明治17年公立に編入)</li> <li>○この年, 函館の人口36,419人, 学齢児童5,049人, 就学児童2,014人, 未就学児童2,945人</li> <li>○公立小安学校開校 (戸井)</li> </ul>
" 16年 (1883)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館師範学校附属小学校内に幼稚園を設置, 満3歳からの幼児20名を収容 (函館における最初の幼稚園)</li> <li>○函館県小学校校則, 函館県小学校教則実施</li> <li>○函館商船学校が県立に移籍 (のち官立となり, 東京商船学校函館分校となる)</li> <li>○公立幸小学校開校, 公立東川学校を公立東川小学校に改称</li> <li>○私立商業学校が開校</li> </ul>
" 17年 (1884)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私立商業学校内に私立末広小学校開設</li> <li>○元町ハリストス教会内に私立正教女学校裁縫場開設 (のちの正教女学校の創始)</li> <li>○函館師範学校に教員講習場を設け, 県内郡区の教員を対象に講習会開催</li> <li>○函館公園内に博物館第二号館開設</li> <li>○白浜学校, 小安学校を合併し, 小安学校とした。(戸井)</li> </ul>
" 18年 (1885)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館師範学校内に県立函館女学校創立</li> <li>○私立皇漢英学講習所, 私立五島学舎, 私立函館学校開校, 嘯山私塾開設</li> <li>○戸井小学校新築</li> </ul>
" 19年 (1886)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私立聖保祿女学校 (現白百合高等学校) が開校</li> <li>○私立豊川小学校, 浜野小学校, 堀川小学校, 巴小学校が開校</li> <li>○県が廃止され, 札幌に北海道庁を設置</li> <li>○札幌・函館の師範学校を廃止, 改めて札幌に北海道師範学校を設置</li> <li>○函館に当分, 北海道師範学校分校を設置</li> </ul>
" 20年 (1887)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公立住吉, 東川, 高砂, 幸の4小学校を私立小学校とする</li> <li>○庁立函館商業学校開校</li> <li>○私立函館学校内に私立函館幼稚園開設</li> <li>○北海道師範学校函館分校廃校 (師範学校の校名を北海道尋常師範学校と改称)</li> </ul>
" 21年 (1888)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公立函館書籍館開館</li> <li>○私立六和女学校開校 (現大谷高等学校の前身)</li> <li>○楯法華簡易小学校 校舎改築</li> </ul>
" 22年 (1889)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公立函館女学校開校 (高等小学校に類する女学校, 修業年限4か年, ほかに別科として16歳以上の女子が入学)</li> <li>○私立函館学校廃校 (高等科の女生徒を公立函館女学校に移籍)</li> <li>○高竜寺吉祥協会本部に私立吉祥女学校が開校</li> <li>○聖公会牧師ウォルター・アンデレスが元町に私立靖和女学校を開校</li> </ul>
" 23年 (1890)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元町正教女学校に西洋裁縫科設置</li> <li>○私立恵似小学校開校 (真宗大谷派北海道慈恵会設立)</li> </ul>
" 24年 (1891)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○官立函館商船学校新築落成, 東京商船学校函館分校と改称</li> </ul>
" 25年 (1892)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○亀尾小学校開校</li> <li>○英人ネトルシップ, 元町に旧土人学校を開設</li> <li>○私立遺愛女学校付設小学校・幼稚園開校</li> </ul>

明治25年	(1892)	○戸井小学校鎌歌分校設置
" 26年	(1893)	○公立函館女学校を公立函館女子高等小学校と改称
" 28年	(1895)	○米人シャーロット・ドレバー、函館訓盲会を設立（現函館盲・聾学校の前身） ○庁立函館商業学を廃止し、庁立函館尋常中学校（現函館中部高等学校の前身）を開校、 商業専修科併設 ○假法華簡易小学校を假法華尋常小学校と改称
" 29年	(1896)	○私立東川尋常高等小学校に屋内運動場完成
" 30年	(1897)	○公立幸尋常高等小学校・公立宝尋常高等小学校が開校（幸・宝小学校の改称）
" 31年	(1898)	○住吉・東川・高砂尋常小学校が公立移管
" 32年	(1899)	○函館尋常中学校商業専修科を廃止、元町に庁立函館商業学校を新設・開校
" 33年	(1900)	○函館区に初めて7名の学務委員設置（公民2，区会議員3，教員2） ○戸井小学校鎌歌分校が独立し、鎌歌小学校となる。
" 34年	(1901)	○東京商船学校函館分校廃止、庁立函館商船学校が開校（のち七重浜に移転） ○庁立函館尋常中学校を庁立函館中学校と改称（明治39年現時任町に移転） ○戸井、瀬田来両尋常小学校を合併し、日新尋常小学校と改称
" 35年	(1902)	○私立六和女学校を私立函館大谷女学校と改称
" 36年	(1903)	○函館区中部方面の学齢児童増加、宝、東川、住吉、高砂、亀田の各小学校で二部授業開始 ○若松尋常高等小学校開校
" 38年	(1905)	○庁立函館高等女学校開校（現函館西高等学校の前身） ○宝小学校に宝補習夜学校を付設
" 39年	(1906)	○私立函館実践女学校が東川町西別院内に開校
" 40年	(1907)	○小学校令改正、義務教育6か年制開始
" 41年	(1908)	○市立函館幼稚園が栄町に設立 （昭和7年愛国婦人会函館幼稚園、昭和18年函館幼稚園として市立に移管）
" 42年	(1909)	○弥生小学校で区内の教員や児童の図画成績展覧会開催（函館初の展覧会） ○函館教育会が谷地頭に公設運動場を設置（渡辺熊四郎の寄付） ○私立函館図書館が函館公園内に設置・開館
" 43年	(1910)	○公会堂落成・開堂（相馬哲平氏の寄付）
" 44年	(1911)	○公立函館工業補習学校が青柳町に開校（大正9年新川町に新校舎に移転）
" 45年	(1912)	○新川尋常小学校開校
<hr/>		
大正2年	(1913)	○公立第二東川尋常小学校が開校 ○私立遺愛幼稚園が開園 ○五稜郭跡、函館区に貸与（翌年6月、公園として一般公開）
" 3年	(1914)	○北海道函館師範学校開校（現北海道教育大学函館校の前身）
" 5年	(1916)	○函館図書館五階建書庫落成（相馬哲平氏の寄付）
" 6年	(1917)	○公立千代ヶ岱尋常小学校開校 ○函館教育会主催、学童水泳会（七重浜、水泳学校の最初） ○小熊育英資金創始（小熊幸一郎氏の寄付） ○公立第一尋常夜学校（第二東川小学校内）、公立第二尋常夜学校（新川小学校内）開校 ○函館慈恵院附属大森小学校開校
" 7年	(1918)	○最初の区視学、任命
" 8年	(1919)	○假法華尋常小学校 校舎新築落成
" 9年	(1920)	○公立松風尋常高等小学校落成、授業開始（翌10年開校式） ○假法華尋常小学校高等科を併置、假法華尋常高等小学校と改称
" 10年	(1921)	○千代ヶ岱尋常小学校を千代ヶ岱尋常高等小学校と改称 ○函館教育会主催第一回児童安全デー開催（児童の交通安全を強調）

大正10年	(1921)	○函館教育会主催第一回林間学校開設（最初の林間学校・大正15年から市が主催） ○区立函館工業学校開校（翌年庁立、現函館工業高等学校の前身） ○公立巴尋常小学校開校
〃 11年	(1922)	○函館支庁を渡島支庁と改称 ○函館区が函館市となり、区立小学校は市立小学校と改称 （当時、市内の市立尋常高等小学校は、弥生、函館女子、住吉、宝、東川、松風、若松、千代ヶ岱、亀田の9校、市立尋常小学校は、幸、常盤、第二東川、高砂、巴、新川の6校、私立小学校は、鶴岡尋常小学校、函館慈恵院附属大森小学校の2校） ○五稜郭跡が国の史跡に指定
〃 12年	(1923)	○函館中学校に夜間中学校が開校 ○函館教育会が小学生の読物「函館の小学生」を刊行（昭和18年廃刊） ○私立函館大谷女学校が私立函館大谷高等女学校と改称
〃 13年	(1924)	○谷地頭尋常高等小学校、弥生女子尋常高等小学校が開校 ○私立函館大妻技芸学校開校 （蓬莱町に開校、翌年松風町、昭和4年高砂町に移転・現函館大妻高等学校の前身）
〃 14年	(1925)	○私立遺愛第二幼稚園開園 ○函館市学校衛生婦会発足
〃 15年	(1926)	○函館市主催第一回林間学校、五稜郭公園内で開催 ○市教育課内に学校衛生主事を設置
<hr/>		
昭和2年	(1927)	○万年橋尋常小学校開校 ○函館教育会主催、ペスタロッヂ百年祭記念座談会開催（五島軒） ○私立函館図書館が市立移管（新築して翌年7月開館） ○大森尋常高等小学校開校
〃 3年	(1928)	○柏野尋常小学校開校 ○市立函館商工実修学校（商業部、工業部、女子商業部）開校
〃 4年	(1929)	○弥生女子尋常高等小学校ほか7校（谷地頭、住吉、東川、第二東川、松風、千代ヶ岱、巴）の高等科を廃止、市内高等科の女児全員を新設の函館女子高等小学校（開校式は翌年3月）に収容し、授業開始 ○国史跡五稜郭 堀外周長斜坂部が追加指定
〃 5年	(1930)	○谷地頭、住吉、汐見、新川の4小学校に虚弱児童の養護学級設置 ○私立昭和技芸学校開校（現清尚学院高等学校の前身） ○私立函館大谷幼稚園開園
〃 6年	(1931)	○函館市体操研究会主催第一回市内小学校教員陸上競技会を函館中学校で開催
〃 7年	(1932)	○函館大妻技芸学校を函館大妻女子高等技芸学校と改称 ○第一回函館市小学校連合体育大会を柏野総合運動場で開催 ○函館学校歯科医師会創設 ○函館市小学校地理教育研究会が「函館市地理読本」を編集、発行 ○函館市小学校診療所を松風小学校に開設 ○欠食児童に共働宿泊所より弁当配給開始（幸、谷地頭、宝、第二東川、東川、高砂、新川、松風、若松、巴、大森、千代ヶ岱、万年橋、高砂夜学、汐見の15校）
〃 8年	(1933)	○中島尋常小学校開校
〃 9年	(1934)	○四稜郭が国の史跡に指定 ○志苔館跡が国の史跡に指定 ○函館大火により、罹災学童18,046名、死亡学童218名
〃 10年	(1935)	○坂本市長「函館市教育是」発表 ○函館放送局が学校放送を開始 ○官立函館高等水産学校開校（現北海道大学水産学部の前身） ○庁立函館商船学校が廃止され、新たに庁立函館水産学校が開校

昭和10年	(1935)	○私立竜谷幼稚園開園 ○第一回北洋漁業視察小学校教員団9名出発 ○第一回「港まつり」挙行
" 11年	(1936)	○住吉尋常小学校を青柳尋常小学校, 大森尋常高等小学校を高盛尋常高等小学校に改称 ○的場尋常高等小学校開校 ○私立函館第二大谷幼稚園開園
" 12年	(1937)	○宝・松風・若松・新川の4小学校が尋常小学校となり, 高等科廃止 ○大森尋常小学校開校 ○私立函館中等夜学校を私立函館夜間中学と改称 ○東川青年学校開校
" 13年	(1938)	○弥生女子尋常小学校を弥生尋常高等小学校に合併
" 14年	(1939)	○湯川町が函館市に合併 尋常高等小学校2校(湯川・亀尾), 尋常小学校3校(鱒川・蛾眉野・寅沢)が市に移管 ○昭和技芸学校を私立昭和女子高等技芸学校(旧制中学校)と改称 ○私立函館経理学校が開校(現函館大学付属有斗高等学校の前身)
" 15年	(1940)	○函館市立中学校が開校(旧函館東高等学校, 現市立函館高等学校の前身)
" 16年	(1941)	○国民学校令, 国民学校施行規則が公布され, 小学校は国民学校と改称 ○八幡国民学校開校, 的場青年学校開校 ○太平洋戦争ぼっ発 ○楯法華尋常高等小学校を楯法華国民学校と改称
" 17年	(1942)	○谷地頭・大森・万年橋・中島女子の各青年学校が開校 ○市教育課に体育主事設置
" 18年	(1943)	○函館師範学校が北海道第二師範学校と改称 ○市立函館幼稚園開園(愛国婦人会函館幼稚園が市立移管)
" 19年	(1944)	○寅沢国民学校が廃校 ○函館高等水産学校が函館水産専門学校と改称
" 20年	(1945)	○市内国民学校初等科児童が集団疎開(亀尾, 鱒川, 銭亀沢, 石崎, 島川, 市渡, 駒ヶ岳, 大沼, 森, 濁川, 大野, 清水, 知内, 湯里, 吉岡, 福島, 松前等の学校, 寺院その他へ分散宿泊) ○ポツダム宣言を受諾, 終戦 ○谷地頭国民学校が廃止され, 同校校舎に北海道第二師範学校女子部設置
" 21年	(1946)	○放出物資によるミルク補食給食開始 (11月~幸小学校, 翌年~高盛, 千代ヶ岱, 常盤, 東川小学校) ○楯法華小学校 校舎新築
" 22年	(1947)	○教育基本法, 学校教育法が公布(教育制度改革, 六三三制発足) ○函館市新学制実施協議会を結成 ○国民学校の名称が小学校と改称 ○新制中学校, 公立13校(的場・弥生・新川・湯川・川原・時任・柳町・旭・中島・万年橋・亀尾・元町・五稜郭) 国立1校(附属) 私立3校(遺愛・大谷・白百合) ○函館市公民館開館(旧青年会館) ○函館市学校図書館研究会発足(全国で最初) ○小安・汐首・日新小学校に新制中学校併置(戸井) ○楯法華中学校開校
" 23年	(1948)	○函館教育会が解散(函館文化会が継承) ○万年橋中学校を大川中学校と改称 ○新制高等学校が発足 ○高盛中学校, 松風中学校, 青柳中学校が開校 ○教育委員会法公布

昭和23年	(1948)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市立函館図書館第一分館開設</li> <li>○市立函館博物館開設（市立図書館内）</li> <li>○日米文化センターが開設</li> <li>○楯法華中学校校舎新築落成</li> </ul>
" 24年	(1949)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一回函館市成人祭実施</li> <li>○レッド・ページにより、6名の教員に休職発令</li> <li>○亀田村字港地区が函館市に合併（港小学校が市立移管）</li> <li>○弥生中学校を船見中学校と改称</li> <li>○時任・元町・五稜郭・青柳・川原の5中学校が廃校</li> <li>○私立函館藤幼稚園が開園</li> <li>○北海道第二師範学校が北海道学芸大学函館分校と改称</li> </ul>
" 25年	(1950)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館水産専門学校が北海道大学水産学部と改称</li> <li>○駒場小学校・千代田小学校が開校</li> <li>○愛宕中学校が開校</li> <li>○高盛中学校を光成中学校, 松風中学校を松川中学校, 中島中学校を中央中学校に改称</li> <li>○函館白百合幼稚園が開園（昭和39年元町より当時亀田町本通に移転）</li> <li>○青柳中学校を谷地頭中学校と改称し、北海道第二師範学校女子部跡に移転</li> <li>○港小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> <li>○柏野小学校に養護学級（3学級）を設置</li> <li>○第一回函館市教育宝くじ発売</li> <li>○函館市文化賞規則制定（文化の日、第一回授与式举行）</li> </ul>
" 26年	(1951)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館昭和女子高等技芸学校移転（西川町→東川町）し、昭和竜谷技芸高等学校に改称</li> <li>○千代ヶ岱公園に市営野球場が完成</li> <li>○第一回成人学校開校</li> <li>○函館市奨学資金条例制定</li> <li>○私立函館ちとせ幼稚園が開園</li> <li>○日新中学校独立校舎竣工（戸井）</li> </ul>
" 27年	(1952)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文部省モデルスクールの新川中学校が落成</li> <li>○谷地頭中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> <li>○函館市学校給食研究会発足、給食用パン代補助開始</li> <li>○函館市教育委員会が発足</li> <li>○私立めぐみ幼稚園開園（昭和49年本町より桔梗町に移転、桔梗めぐみ幼稚園と改称）</li> <li>○潮光中学校独立校舎竣工（戸井）</li> <li>○国史跡五稜郭跡が特別史跡に指定</li> </ul>
" 28年	(1953)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館市教育委員会公報、創刊号を発行</li> <li>○函館市新学制実施協議会を改め、函館市学校教育審議会発足</li> <li>○函館商科短期大学開校</li> <li>○函館大妻技芸高等学校移転（高砂町→川原町）</li> <li>○公立戸井高等学校開校</li> </ul>
" 29年	(1954)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一回函館山市民ハイキング大会実施</li> </ul>
" 30年	(1955)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館市視聴覚ライブラリーを設置</li> <li>○谷地頭小学校開校</li> <li>○谷地頭中学校を潮見中学校と改称</li> <li>○第一回水泳学校開催（七重浜）</li> <li>○市立函館博物館五稜郭分館が開館</li> </ul>
" 31年	(1956)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金堀小学校開校</li> <li>○私立国華幼稚園、私立ひまわり幼稚園が開園</li> </ul>

昭和32年 (1957)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○港中学校開校</li> <li>○函館市教育目標および教育課程を編成</li> <li>○函館市学校教育の重点を設定</li> <li>○函館市教育研究所を設置</li> <li>○私立函館女子商業高等学校が開校（現函館大学附属柏稜高等学校）</li> <li>○私立湯の川幼稚園，私立第二竜谷幼稚園が開園</li> </ul>
〃 33年 (1958)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一回市民体育祭開催(千代ヶ岱公園陸上競技場)</li> <li>○港中学校に特殊学級（精神薄弱）設置</li> <li>○私立函館若葉幼稚園開園</li> </ul>
〃 34年 (1959)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青柳小学校，新川小学校，中島小学校，若松小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和38年，若松小の特殊学級廃止）</li> <li>○函館市青少年保護育成事務局発足</li> <li>○函館市青少年補導センター発足</li> <li>○アイヌの生活用具コレクションが国の重要有形民俗文化財に指定</li> </ul>
〃 35年 (1960)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館市青少年問題協議会発足</li> <li>○函館五稜郭病院内に柏野小学校・的場中学校の特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を開設</li> <li>○私立ラ・サール高等学校開校</li> <li>○私立函館第三大谷幼稚園開園</li> </ul>
〃 36年 (1961)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○深堀中学校開校</li> <li>○弥生小学校，高盛小学校，新川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> <li>○千代ヶ岱公園内に第二種公認陸上競技場が完成</li> <li>○亀尾中学校の分教場が独立し，鱒川，蛾眉野中学校として開校</li> <li>○私立湯川明照幼稚園，市立函館元町白百合幼稚園が開園</li> <li>○昭和竜谷技芸高等学校が普通科を開設し，昭和竜谷女子高等学校と改称</li> <li>○函館大妻技芸高等学校が函館大妻高等学校と改称</li> <li>○安全都市宣言</li> </ul>
〃 37年 (1962)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○五稜中学校開校</li> <li>○函館五稜郭病院内特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を五稜中学校に移管</li> <li>○函館市文化財保護条例公布・施行</li> <li>○国立函館工業高等専門学校開校</li> </ul>
〃 38年 (1963)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館大谷女子短期大学開校</li> <li>○函館北高等学校開校</li> <li>○市立函館病院内に弥生小学校特殊学級「やよい学園」（肢体不自由）を開設</li> <li>○柏野小学校養護学級を転用して精神薄弱学級を設置</li> <li>○的場中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和48年廃止）</li> <li>○村立戸井高等学校独立校舎竣工</li> </ul>
〃 39年 (1964)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日吉が丘小学校開校</li> <li>○完全給食（A型）を実施（幸・常盤・弥生・谷地頭・青柳・東川・大森・新川・若松・松風・巴・八幡・万年橋・港・高盛・千代ヶ岱・中島・千代田・柏野・金堀・駒場・日吉が丘・湯川・亀尾・鱒川の25小学校，亀尾・鱒川の2中学校）</li> <li>○昭和竜谷高等学校が東川町より亀田本町に移転</li> <li>○万年橋小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> <li>○「函館市ふたば学園」内に日吉が丘小学校および深堀中学校特殊学級（精神薄弱）を開設</li> </ul>
〃 40年 (1965)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館市立道南青年の家が落成</li> <li>○市内初の学校プールを金堀小学校に設置</li> <li>○函館大学開校</li> <li>○松風小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> </ul>
〃 41年 (1966)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市立松風幼稚園開園（松風小学校に併設）</li> </ul>



昭和41年 (1966)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> <li>○「市立函館整肢学院」に青柳小学校および旭中学校の特殊学級（肢体不自由）を開設（のちに青柳学園と改称）</li> <li>○市立函館博物館本館開館</li> <li>○銭亀沢村が函館市に合併（銭亀小学校、石崎小学校、宇賀小学校、銭亀沢中学校が市立移管）</li> <li>○私立函館短期大学附属幼稚園開園</li> </ul>
〃 42年 (1967)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設等を勤労青少年の社会教育活動に開放するため、初の学校開放実施（新川小学校）</li> <li>○函館大谷高等学校に男子部（当時亀田本町本通）を設置</li> <li>○亀田小学校（亀田町立当時）に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> <li>○木造大日如来坐像が国の重要文化財に指定</li> <li>○戸井村学校給食開始</li> <li>○戸井中央公民館開館</li> <li>○第1回戸井村文化祭開催</li> </ul>
〃 43年 (1968)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○桐花中学校（亀田町立当時）・大川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置</li> <li>○戸井青少年会館開館</li> </ul>
〃 44年 (1969)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館商業高等学校が亀田町の新校舎に移転</li> <li>○函館市青年センター開館</li> <li>○梁川交通公園開設</li> <li>○昭和竜谷女子高等学校を函館昭和女子学園高等学校と改称</li> <li>○市立函館博物館郷土資料館開館</li> </ul>
〃 45年 (1970)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町立北海道恵山高等学校開校</li> <li>○上湯川小学校開校</li> <li>○西小学校開校（常盤小学校と幸小学校の統合）</li> <li>○函館市民会館開館</li> <li>○第一回新成人海外派遣実施</li> </ul>
〃 46年 (1971)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○深堀小学校開校</li> <li>○大森小学校に特殊学級（言語障がい）を設置</li> <li>○函館市民プール開館</li> <li>○太刀川家住宅店舗が国の重要文化財に指定</li> <li>○戸井高等学校が全日制となる。</li> <li>○南茅部町青少年会館開館</li> </ul>
〃 47年 (1972)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東小学校開校（銭亀小学校と宇賀小学校の統合）</li> <li>○函館市働く婦人の家開館</li> <li>○戸井郷土館開館</li> <li>○南茅部町福祉センター（南茅部公民館）開館</li> </ul>
〃 48年 (1973)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新川小学校に特殊学級（情緒障がい・肢体不自由）を設置</li> <li>○戸倉中学校開校</li> <li>○市立日吉幼稚園開園</li> <li>○亀田市が函館市と合併（亀田・鍛神・赤川・桔梗・中の沢・昭和・中央・本通の8小学校、鍛神小東山分校、桐花・亀田の2中学校が函館市立として編入、私立太陽の子幼稚園、私立大谷短期大学附属幼稚園、私立函館白百合学園幼稚園、私立ゆたか幼稚園の4園が函館市内となる）</li> <li>○私立函館白百合学園中学校休校</li> <li>○東幼稚園・西地区学校プール完成（戸井）</li> </ul>
〃 49年 (1974)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私立函館第二大谷幼稚園が花園町に移転し、花園大谷幼稚園として開園</li> <li>○函館市南北海道教育センター開所</li> <li>○函館市民体育館開館</li> </ul>

昭和49年	(1974)	○旧函館区公会堂が国の重要文化財に指定
" 50年	(1975)	○北日吉小学校開校 ○本通中学校開校 ○「函館市ゆのかわ学園」に湯川小学校の特殊学級（精神薄弱）を開設 ○重度心身障がい児のための住宅訪問指導員制度発足
" 51年	(1976)	○北昭和小学校開校 ○高丘小学校開校 ○万年橋幼稚園開園 ○日吉が丘小学校に特殊学級（情緒障がい）を設置 ○「函館市ゆのかわ学園」に湯川中学校の特殊学級（精神薄弱）を設置 ○市立函館図書館赤川通分室開館 ○第一回函館市婦人大学講座開設 ○第一回市民美術公募展開催 ○国立函館大学誘致促進期成会発足 ○戸井高等学校道立移管
" 52年	(1977)	○西中学校開校（船見中学校と愛宕中学校の統合） ○市立函館図書館上湯川児童図書室開館 ○私立第2太陽の子幼稚園開園 ○第1回はこだて放送文化セミナー開設 ○総合センター（戸井総合学習センター）開館
" 53年	(1978)	○中部小学校が開校（新川小学校と松風小学校の統合） ○東山小学校が開校 ○函館東高等学校校舎改築に着手（計画年度昭53～58） ○市立函館図書館第1分館桔梗配本所開設 ○見晴町B遺跡・中野A遺跡発掘調査実施 ○日新小学校改築工事竣工 ○椴法華小学校 校舎改築落成
" 54年	(1979)	○旭岡小学校開校 ○北美原小学校開校 ○私立函館ひかり幼稚園開園 ○北海道五稜郭養護学校開校 （青柳小学校特殊学級(肢体不自由), 旭中学校特殊学級(肢体不自由), 柏野小学校特殊学級(病弱虚弱), 五稜中学校特殊学級(病弱虚弱)を廃止) ○市立小・中学校に米飯給食を導入（週1回） ○移動図書館車（ともしび号）運行開始 ○土偶が国の重要文化財に指定 ○北海道指定有形文化財旧函館博物館1号修復工事実施 ○権現台場遺跡発掘調査実施（昭54～55年度） ○函館市道立高等学校誘致促進期成会発足 ○私立函館あおい幼稚園が開園 ○日新中学校改築工事竣工 ○椴法華小学校 屋内体育館改築落成
" 55年	(1980)	○赤川中学校開校 ○私立函館三育小学校開校 ○銭亀沢中学校校舎改築 ○重要文化財旧函館区公会堂保存修理工事着手（昭55～57年度） ○第1回函館子どもの船開設

昭和55年 (1980)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回函館市民健康マラソン大会開催</li> <li>○特別史跡五稜郭跡二の橋修理工事着手(昭55～56年度)</li> <li>○函館市指定有形文化財旧北海道庁函館支庁庁舎保存修理工事着手(昭55～56年度)</li> <li>○函館大谷女子短期大学に幼児教育科を新設</li> <li>○函館市に道立高等学校の新設決定, 昭和58年度開校 〔北海道教育長期総合計画(後期実施計画)〕</li> <li>○函館市学校教育の重点を改訂</li> <li>○榎法華総合センター開館</li> </ul>
〃 56年 (1981)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旭岡中学校開校</li> <li>○湯川中学校分教場新築工事着手(翌年市立北中学校として開校)</li> <li>○私立湯川明照幼稚園廃止</li> <li>○私立ききょう幼稚園開園</li> <li>○私立高丘幼稚園開園</li> <li>○特別史跡五稜郭跡一の橋, 二の橋修理工事完成</li> <li>○函館市総合文化センター基本計画策定</li> <li>○第1回函館子どもの祭典開催</li> <li>○戸井西幼稚園開園(戸井地区)</li> </ul>
〃 57年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北中学校開校</li> <li>○凌雲中学校開校(中央中学校と松川中学校の統合)</li> <li>○北洋資料館開館</li> <li>○教育委員会施行30周年記念事業 〔文化講演会, 函館市教育委員会のあゆみ刊行(編集昭和57年度～59年度)〕</li> <li>○「子どもの生活を考える」市内7ブロックで発足</li> <li>○市立函館図書館湯川配本所開館(湯川支所内)</li> <li>○銭亀沢中学校校舎改築</li> <li>○北海道五稜郭養護学校校舎落成</li> <li>○北海道函館養護学校校舎落成</li> <li>○榎法華中学校改築</li> </ul>
〃 58年 (1983)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南本通小学校開校</li> <li>○北海道函館稜北高等学校開校</li> <li>○義務教育施設整備目標策定(昭59～平5年度)</li> <li>○すずらん留守家庭児童会開設(上湯川小学校内)</li> <li>○西部地区伝統的建造物群調査実施</li> <li>○函館ハリストス正教会復活聖堂が国の重要文化財に指定</li> </ul>
〃 59年 (1984)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○桔梗中学校開校</li> <li>○函館大谷高等学校が男女共学開始</li> <li>○核兵器廃絶平和都市宣言</li> <li>○南茅部町スポーツセンター(南茅部スポーツセンター)開設</li> </ul>
〃 60年 (1985)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館市教育委員会30年誌発行</li> <li>○千代田小学校校舎改築(昭59～60年度)</li> <li>○サイベ沢遺跡発掘調査完了(昭59～60年度)</li> <li>○町民運動広場(戸井運動広場)完成(戸井地区)</li> </ul>
〃 61年 (1986)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中の沢小学校校舎・屋体改築</li> <li>○湯川小学校校舎・防音改築(昭58～61年度)</li> <li>○北海道立函館美術館開館</li> <li>○市民プール50mプール改築(昭59～61年度)</li> <li>○ふるさとの歴史的事跡モニュメント設置調査完了(昭59～61年度)</li> </ul>

昭和62年 (1987)	○北星小学校校舎・屋体新築(昭61～62年度) ○史跡志苔館跡環境整備事業完了(昭58～62年度)
〃 63年 (1988)	○函館市学校教育の重点を改訂 ○北星小学校が開校(巴小学校と若松小学校の統合) ○義務教育施設整備計画[木造校舎・屋内運動場改築事業(平元～7年度)]策定 ○駒場小学校火災焼失(1月25日),建設着手 ○亀田中学校校舎改築(昭62～63年度) ○第42回全国レクリエーション大会兼第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 ○陣川町遺跡発掘調査完了(昭62～63年度) ○重要文化財函館ハリストス正教会復活聖堂保存修理事業完了(昭61～63年度) ○函館市西部地区歴史的景観条例公布・施行 ○函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区の決定および保存計画の策定 ○南茅部町民運動公園(南茅部運動広場)開設
平成元年 (1989)	○財団法人函館市文化・スポーツ振興財団設立 ○駒場小学校改築 ○柏野小学校校舎改築(昭和63～平成元年度) ○権現台場遺跡発掘調査実施 ○第44回国民体育大会「はまなす国体」水泳競技(夏季),自転車競技(秋季)を開催 ○函館市北方民族資料・石川啄木資料館開館 ○伝統的建造物群保存地区保存事業開始 ○国際観光都市宣言
〃 2年 (1990)	○青柳小学校開校(青柳小学校と谷地頭小学校の統合) ○桔梗小学校改築(平成元～2年度) ○亀田小学校改築(平成元～2年度) ○「登校拒否児童生徒の適応指導の在り方に関する調査研究委託事業」文部省委託(平成2～3年度) ○「第4回ツール・ド・北海道」開催 ○特別史跡五稜郭跡保存整備基本計画策定 ○史跡四稜郭環境整備事業完了 ○箱館奉行所復元詳細調査実施 ○南茅部町民白尻スキー場(現白尻スキー場)開設 ○南茅部町民テニスコート(現南茅部市民庭球場)開設
〃 3年 (1991)	○赤川小学校改築 ○万年橋小学校改築(平成2～3年度) ○湯川中学校改築(平成2～3年度) ○第1回函館ハーフマラソン大会開催 ○函館市青少年芸術教育奨励事業開始 ○豊原2遺跡発掘調査実施(平成3～5年度) ○小・中学校へのコンピュータ導入
〃 4年 (1992)	○潮見中学校改築(平成3～4年度) ○市制施行70周年記念事業宝くじスポーツフェア「名球会がやってくる」開催 ○中学生を対象とした適応指導教室「やすらぎ学級」を南北海道教育センター内に開校 ○「スポーツ健康都市宣言」制定
〃 5年 (1993)	○宇賀の浦中学校開校(旭中学校と新川中学校の統合) ○函館市文学館開館(北方民族資料館は単独館化) ○中島小学校改築(平4～5年度)

平成 5 年 (1993)	○八幡小学校改築 (平 4 ～ 5 年度) ○外国人英語指導助手導入
〃 6 年 (1994)	○千代台公園野球場 (オーシャンスタジアム) 全面改修 ○「第 8 回ツール・ド・北海道」開催 ○石倉貝塚発掘調査実施 (平成 6 ～ 8 年度) ○港小学校改築 (平成 5 ～ 6 年度) ○港中学校改築 (平成 5 ～ 6 年度) ○「いきいき長寿都市宣言」制定
〃 7 年 (1995)	○神山小学校開校 ○金堀小学校改築 (平成 6 ～ 7 年度) ○深堀中学校改築 (平成 6 ～ 7 年度) ○外国人英語指導助手増員 (2 名体制) ○湯川ネット式海水浴場開設
〃 8 年 (1996)	○生涯学習部設置 (社会教育部を改組) ○社会教育施設整備基本計画策定 ○生涯学習推進基本構想策定 ○鱒川小中学校改築 ○石崎小学校改築 ○鍛神小学校改築 (平成 7 ～ 8 年度) ○桐花中学校改築 (平成 7 ～ 8 年度) ○外国人英語指導助手増員 (3 名体制) ○函館市青少年研修センター (ふるる函館) 開所 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始 (平成 8 ～ 9 年度)
〃 9 年 (1997)	○私立函館大学付属女子高等学校を私立函館大学付属柏稜高等学校と改称 (男女共学) ○私立函館白百合学園中学校再開 ○第 2 次義務教育施設整備計画策定 ○函館市日吉サッカー場完成 ○港小学校プールに上屋設置 ○本通中学校屋内体育館改修 (7 月 6 日火災による) ○中の沢小学校上屋付プール完成 ○第 2 回北海道生涯学習フェスティバル開催 ○「一男女共同参画社会をめざすーはこだてプラン21」策定 ○小中学校屋内体育館暖房設備の整備開始 ○潮光中学校新校舎完成
〃 10 年 (1998)	○「戦後学校教育の五十年」の発行 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業継続 (2 名体制) ○函館市芸術ホール (ハーモニー五稜郭) 完成 ○ウィークエンド・サークル活動推進事業開始 ○美原図書館夜間開館試行 ○駒場小学校上屋付プール完成 ○青柳小学校プールに上屋設置 ○「第 12 回ツール・ド・北海道」開催 ○長野県南佐久郡臼田町と「五稜郭ゆかりのまち協定書」締結 ○戸倉中学校情緒特殊学級「ふれあい学級」開設 ○戸井幼稚園開園 (戸井東, 西幼稚園統合) ○鎌歌小学校を閉校し, 日新小学校に統合 ○戸井西小学校開校 (汐首小学校, 小安小学校統合)

平成10年	(1998)	○戸井生涯学習センター開館 ○南茅部町民プール（南茅部プール）開館
〃 11年	(1999)	○函館市千代台公園陸上競技場全面改修 ○北美原小学校，赤川小学校に肢体不自由特殊学級開設 ○南本通小学校プールに上屋設置 ○瀬戸川 1 遺跡発掘調査実施（平成11～14年度） ○豊原 4 遺跡発掘調査実施（平成12～14年度） ○私立函館ラ・サール中学校開校 ○函館市千代台公園弓道場火災焼失(10月30日) ○南茅部町立古部小学校廃校 ○南茅部町立磯谷小学校廃校 ○古部体育館，古部グラウンド，磯谷体育館，磯谷グラウンド開設
〃 12年	(2000)	○湯川小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○大森小学校「ことばの教室」を廃止。中部小学校・中央小学校「ことばの教室」新設（日吉が丘小学校とあわせて3校体制に） ○外国人英語指導助手増員（5名体制に） ○函館市千代台公園弓道場改修 ○郷土資料館（旧金森洋物店）改修 ○中部小学校肢体不自由特殊学級閉鎖 ○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所復元構想策定
〃 13年	(2001)	○教育委員会事務局を生涯学習部・学校教育部の2部制に（管理部を廃止） ○女性課を市民部に移管（男女共同参画課に） ○特別史跡箱館奉行所庁舎復元計画策定 ○「第15回ツール・ド・北海道」開催 ○旧遺愛女子校宣教師館が国の重要文化財に指定 ○旧岩船氏庭園（香雪園）が国の名勝に指定 ○柏野小学校，中央小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○湯川中学校肢体不自由特殊学級開設
〃 14年	(2002)	○亀尾小学校特認校に指定 ○中部小学校，港中学校に弱視特殊学級開設 ○東小学校に知的障がい特殊学級開設 ○桐花中学校に情緒障がい特殊学級開設 ○学校完全週5日制施行 ○学校評議員制度導入 ○あさひ小学校開校（大森小学校と東川小学校の統合） ○市立函館博物館がアルセニエフ博物館（ロシア）と姉妹提携 ○志海苔古銭と大甕，函館八幡宮大神輿が市指定有形文化財に ○中央図書館プロポーザルコンペ実施 ○市立函館図書館第1分館廃止
〃 15年	(2003)	○市立はこだて幼稚園開園（函館幼稚園，松風幼稚園統合） ○市立函館図書館千歳図書室開設 ○蛾眉野小中学校統合廃止（亀尾小中学校と統合） ○あさひ小学校，高丘小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○北昭和小学校に知的障がい特殊学級開設 ○北海道志海苔中世遺構出土銭附甕敷板が国の重要文化財に指定
〃 16年	(2004)	○「第18回ツール・ド・北海道」開催 ○えさん小学校開校（尻岸内小学校，恵山小学校，古武井小学校，日浦小学校統合）

平成16年 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戸井町, 恵山町, 榎法華村, 南茅部町が函館市と合併 (戸井西・日新・えさん・榎法華・木直・磨光・白尻・大船の8小学校, 潮光・日新・尻岸内・東光・榎法華・尾札部・白尻の7中学校, 恵山高校, 戸井幼稚園が函館市立として編入, 道立戸井高校, 道立南茅部高校の2高校が函館市内となる)</li> <li>○国指定史跡大船遺跡, 国指定重要文化財土偶が市に移管 (南茅部)</li> <li>○名勝旧岩船氏庭園(香雪園)保存修理事業実施 (平成16~21年度)</li> <li>○函館市スポーツ振興計画策定</li> <li>○市立函館図書館上湯川児童図書室閉館</li> </ul>
" 17年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○八幡小学校に肢体不自由特殊学級開設</li> <li>○旭岡小, 鍛神小, 戸倉中に知的障がい特殊学級開設</li> <li>○深堀小学校に情緒障がい特殊学級開設</li> <li>○尾札部中学校に肢体不自由特殊学級開設</li> <li>○恵山中学校開校 (尻岸内中学校と東光中学校の統合)</li> <li>○函館恵山高等学校が旧尻岸内中学校校舎へ移転</li> <li>○市立函館図書館本館 中央図書館の移転に伴い休館</li> <li>○遺愛学院 (旧遺愛女学校) 本館が国の重要文化財に追加指定</li> <li>○大船遺跡発掘調査実施</li> <li>○垣ノ島遺跡発掘調査実施</li> <li>○市民体育館天井改修工事のため休館 (6/30~12/17)</li> <li>○函館市中央図書館開館</li> <li>○北星小, 駒場小, 港中, 白尻小, 恵山中に知的障がい特殊学級開設</li> <li>○昭和小学校改築 (平成17~19年度)</li> </ul>
" 18年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館市南茅部縄文遺跡群整備構想策定</li> <li>○函館市文化芸術振興条例施行</li> <li>○函館公園が国の登録記念物に指定</li> <li>○ブラキストンの大型磨製石斧, 高松凌雲の医療器具が市の有形文化財に指定</li> <li>○放送大学函館学習室開設(函館大学内)</li> <li>○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所庁舎復元工事着手(平成18~22年度)</li> <li>○弥生小, 千代田小, 港小, 桔梗小, 本通小, 南本通小に情緒障がい特殊学級開設</li> <li>○高丘小に知的障がい特殊学級開設</li> <li>○的場中に肢体不自由特殊学級開設</li> <li>○「縄文シティサミットinはこだて」, 「縄文市民サミット」開催</li> </ul>
" 19年 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○函館市西桔梗野球場開設</li> <li>○市立函館高等学校開校 (函館東高等学校と函館北高等学校の統合)</li> <li>○土偶が国宝に指定</li> <li>○函館市文化芸術の振興に関する基本方針策定</li> <li>○外国人英語指導助手増員 (6名体制に)</li> <li>○市立函館高等学校改修</li> <li>○市立函館博物館五稜郭分館閉館</li> <li>○万年橋小, 日吉が丘小, 昭和, 鍛神小に情緒障がい特別支援学級開設</li> <li>○北日吉小, えさん小に知的障がい特別支援学級開設</li> <li>○東山小に肢体不自由特別支援学級開設</li> </ul>
" 20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北日吉小, 鱒川小, 榎法華小, 本通中に情緒障がい特別支援学級開設</li> <li>○桔梗小, 本通中に知的障がい特別支援学級開設</li> <li>○鍛神小, 北中に肢体不自由特別支援学級開設</li> <li>○市立万年橋幼稚園, 市立日吉幼稚園廃止</li> <li>○北海道函館恵山高等学校廃止</li> </ul>

平成20年(2008)	○南部忠平記念陸上大会開催
” 21年(2009)	○弥生小学校開校(西小学校と弥生小学校の統合) ○八幡小, 高盛小, 木直小, 亀田中, 恵山中に知的障がい特別支援学級開設 ○磨光小, 潮見中, 港中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○日吉が丘小に肢体不自由特別支援学級開設
平成22年(2010)	○文化芸術アウトリーチ事業開始 ○箱館奉行所開館 ○重要文化財旧函館区公会堂築100年記念事業の実施 ○金堀小, 深堀小, 昭和小, 神山小, 本通小, 宇賀の浦中, 尾札部中, 白尻中に知的障がい特別支援学級開設 ○北星小, 高盛小, 東小, 西中, 恵山中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○中島小に肢体不自由特別支援学級開設 ○昭和小, 港中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○鍛法華中親子学校給食共同調理場供用開始 ○ツール・ド・北海道2010開催 ○第20回記念2010函館ハーフマラソン大会開催
平成23年(2011)	○はつらつママさんバレーボール in Hakodate開催 ○赤川小, 磨光小, 白尻小, 港中, 的場中, 深堀中に知的障がい特別支援学級開設 ○金堀小, 駒場小, 神山小, 東山小, 北中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○湯川中に肢体不自由特別支援学級開設 ○磨光小学校開校(磨光小学校と木直小学校の統合) ○縄文文化交流センター開館



## 2 函館市内の指定文化財

国指定(15件)



土偶



木造大日如来坐像



太刀川家住宅店舗



旧函館区公会堂



函館ハリストス正教会復活聖堂



遺愛学院(旧遺愛女学校)旧宣教師館



遺愛学院(旧遺愛女学校)本館



北海道志海苔中世遺構出土銭



大谷派本願寺函館別院(本堂)



アイヌの生活用具コレクション



五稜郭跡



四稜郭



志苔館跡



大船遺跡



旧岩船氏庭園(香雪園)

国選定(1件)

国登録(8件)



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区



函館公園(登録記念物※名勝地)

# 一 覧 表

## (1) 国 指 定 (15件)

種 別	名 称	所 在 地	管 理・所 有 者	指 定 年 月 日	摘 要
国宝	土偶	青柳町17-1 博物館	函館市	H19.6.8	縄文時代後期の土偶であり、高さ 41.5cm、幅20.1cm
重要文化財	木造大日如来坐像	住吉町12-23 高野寺	高野寺	S42.6.15	11世紀から12世紀初期の作 明治24年(1891)紀州高野山から付与
	太刀川家住宅店舗	弁天町15-15	太刀川善一	S46.12.28	明治34年(1901)初代太刀川善吉が建築 明治末期の開港場商家の典型例
	旧函館区公会堂	元町11-13	函館市	S49.5.21	明治43年(1910)建設の洋風建築物
	函館ハリストス 正教会復活聖堂	元町3-13	函館ハリストス 正教会	S58.6.2	大正5年(1916)に建築されたロシアビ ザンチン様式を基本とする聖堂
	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 本館 旧宣教師館	杉並町23-11	学校法人 遺愛学院	H13.6.15	明治41年(1908)に建築された洋風木造 校舎と外国人宣教師の洋風住宅 (H16.12.10本館追加指定)
	北海道志海苔 中世遺構出土銭	青柳町17-1 博物館	函館市	H15.5.29	明治43年、志海苔町で発見された37万 枚を超える埋蔵古銭と大甕・敷板
	大谷派本願寺函館 別院 本堂 鐘楼 正門	元町16-15	宗教法人 真宗大谷派函館別院	H19.12.4	本堂は大正4年に竣工した国内最初の 鉄筋コンクリート構造の寺院建築。 鐘楼、正門も大正初期に建設された。
重要有形 民俗文化財	アイヌの生活用具 コレクション	末広町21-7 函館市北方民族資料館	函館市	S34.5.6	民俗学者馬場脩氏が昭和初期に樺太な どから収集したアイヌ民族資料
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭町 本通1丁目	函館市	S27.3.29	安政4年(1857年)武田斐三郎設計によ り着工、元治元年(1864年)竣工。 明治維新箱館戦争の舞台
史跡	四稜郭	陣川町	函館市	S9.1.22	明治2年(1869)五稜郭の背後を固める ため急造した洋式堡壘
	志苔館跡	志海苔町・赤坂町	函館市	S9.8.9	室町時代中期の小豪族の館
	大船遺跡	大船町	函館市	H13.8.13	縄文時代前期末から中期末までの約千 年間に築いた集落跡
	垣ノ島遺跡	白尻町	函館市	H23.2.7	縄文時代早期から後期にかけての長期 間にわたる大規模な盛り土遺構が存在 する集落跡
名勝	旧岩船氏庭園 (香雪園)	見晴町	函館市	H13.8.13	明治時代後半に市内の呉服商により造 成された、大規模で本格的な庭園

## (2) 国 選 定 (1件)

種 別	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日	摘 要
重要伝統的 建造物群 保存地区	函館市元町末広町 伝統的建造物群 保存地区	弥生町, 大町, 元町, 末広町, 豊川町 の各一部	H1.4.21	旧外国公館, 宗教施設および煉瓦造の 倉庫群, 和洋折衷様式の町家など異国 情緒豊かな町並み

## (3) 国 登 録 (8件)

種 別	名 称	所 在 地	管 理・所 有 者	指 定 年 月 日	摘 要
登録有形	五島軒本店旧館	末広町4-13	株式会社五島軒	H9.5.7	昭和9年建築のレストラン
	北海道教育大学函館 校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	八幡町1-2	北海道教育大学	H12.4.28	大正3年建築の洋風木造校舎
	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	元町32-24	中澤 美樹	H12.4.28	昭和3年建築の洋風一般住宅
	函館中華会館	大町1-20	(社)函館中華会館	H13.4.24	明治43年建築の関帝廟式の集会所
	遺愛学院講堂	杉並町64-1	学校法人遺愛学院	H14.6.25	昭和10年建築の周囲との調和を図った講堂
	函館大手町ハウス (旧浅野セメント 函館営業所)	大手町5-1	澤田和子 阿部基子	H17.7.12	大正7年建築の、木造擬洋風社屋
	遺愛学院(旧遺愛女 学校)謝恩館	杉並町64-1	学校法人 遺愛学院	H17.7.12	大正11年建築、昭和36年2階部分増築 の同窓会会館
登録記念物 (名勝地)	函館公園	青柳町	函館市	H18.1.26	明治12年開園の和洋折衷型の公園

## (4) 道 指 定 (20件)

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	樽岸出土の石器	青柳町17-1 博物館	函館市	S32.12.20
	夷酋列像粉本	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S34.2.24
	旧金森洋物店	末広町19-15	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館1号	青柳町17-5	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館2号	青柳町17-4	函館市	S38.7.26
	假法華出土の尖底土器	青柳町17-1 博物館	函館市	S43.3.29
	釈迦涅槃図 蠣崎波響筆	船見町21-11 高龍寺	高龍寺	S43.3.29
	石崎八幡神社の鰐口	青柳町17-1 博物館	石崎八幡神社	S43.3.29
	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	刀銘 源 正雄	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	板碑(貞治の碑)	船見町18-14 称名寺	称名寺	S46.3.5
	板碑(戸井町の板碑)	浜町291-1 戸井郷土館	函館市	S46.3.5
	サイベ沢遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	住吉町遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	旧北海道庁函館支庁庁舎	元町12-18	函館市	S60.3.30
	旧開拓使函館支庁書籍庫	元町12-18	函館市	S60.3.30
無形民俗文化財	松前神楽	青柳町9-23	松前神楽函館 連合保存会	H20.6.9
史跡	恵山貝塚	恵山町	函館市	S42.3.17
	女那川煉瓦製造所跡	川上町	函館市	S42.3.17
	古武井溶鉱炉跡	高岱町	函館市	S42.3.17

## (5) 市 指 定 (84件)

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	小林源之助著 蝦夷地草木写生図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	小玉貞良筆 蝦夷国風図絵	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	アイヌ風俗12ヵ月屏風1双(うち7月～12月は平沢屏山筆, 1月～6月は宮原柳僊模写)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	近藤重蔵書翰	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	イワン・マホフ著 ろしやのいろは	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	古川古松軒筆 松前蝦夷地之図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	菅原透ほか鏝23点, 唐草文ほか小物5点	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	恵山貝塚出土品を中心とする恵山文化期骨角器製品一括資料506点並びに恵山貝塚出土遺物を中心とする恵山式土器一括資料62点(いずれも旧能登川コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	日ノ浜遺跡出土 硬玉製玉(縄文晩期)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	カムチャツカ出土 マンモス牙	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	セイウチ(海象)剥製	五稜郭町37-8 北洋資料館	函館市	S37.11.3
	樺太出土 マンモス下顎骨と臼歯	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	十一面観音立像	船見町18-14 称名寺	須藤隆仙	S38.11.3
	阿弥陀如来像	船見町18-14 称名寺	須藤隆仙	S38.11.3
	不動明王立像	船見町20-20 真言寺	藤原義弘	S38.11.3

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	梁川八景	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S38.11.3
	唐美人	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	落下コロボックル人の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	蝦夷嶋図説	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S39.11.3
	蝦夷嶋奇観	柏木町28-15	渡辺 晃	S39.11.3
	維摩	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	アイヌ絵巻	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	蓬莱図	湯川町2丁目10-1	関 テイ	S39.11.3
	詩書 榎本武揚筆	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	函館新聞綴込一括	柏木町28-15	渡辺 晃	S39.11.3
	有舌尖頭器類73点	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	絹本着色 春雨桜雉図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 巖上鴛鴦図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 五節句図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 牡丹睡猫図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	紙本単彩 雁来紅図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正義 手沢本 休明光記 9冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正義 手沢本 休明光記付録12冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	蝦夷日誌 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	実験北蝦夷山川地理取調図 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷家財図説 松浦武四郎稿	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷隣奇観 松浦武四郎写	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	短冊 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	黒百合 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷人巫寒山遙拝の図 松浦武四郎筆	柏木町28-15	渡辺 晃	S41.11.3
	伝ゴローニンの書	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S43.12.4
	弁天島八千代橋の図	白尻町595 白尻小学校	函館市	S53.2.28
	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 竜の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28
	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 馬の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28
	巖島神社旧社殿彫刻	白尻町151 巖島神社	宗教法人巖島神社	S53.2.28
	奉納経神社仏閣順拝帳	川汲町975	小板 久弥	S53.2.28
	飯田屋漁場文書	尾札部町1220	飯田 勝雄	S53.2.28
	ヲタハマ稲荷文書	大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	成田 利雄	S53.2.28
	尾札部稲荷神社文書	尾札部町473 尾札部稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S53.2.28
	熊泊稲荷文書	大船町316-1 大船稲荷神社	宗教法人 大船稲荷神社	S53.2.28
	旧イギリス領事館	元町33-14	函館市	S54.11.3
	ペリー提督寄贈の洋酒びん2本 (小島家旧蔵・旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S54.11.3
	伝目定作 釈迦如来坐像	尾札部町675	坂井 英一郎	S54.12.7
	伝目定作 釈迦如来立像	木直町94	山形 信芳	S54.12.7
	伝目定作 脇侍形菩薩立像	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	S54.12.7
	伝目定作 釈迦如来坐像	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	S54.12.7
	伝目定作 恵比須像	大船町124	成田 昭治	S54.12.7
	川汲稲荷神社奉納絵馬 『楠木正成正行父子桜井驛の別れの図』	川汲町1520-4 南茅部公民館	宗教法人 尾札部稲荷神社	H12.8.10
	伝目定作 恵比須大黒神像	安浦町105	鳥山 仁	H12.8.10
	白尻B遺跡出土『シカ絵画土器』	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	H12.8.10

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	八木B遺跡出土 『注口土器及び下部有孔土器』	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	H12.8.10
	日米親善人形『メー』	白尻町595 白尻小学校	函館市	H12.8.10
	函館八幡宮大神輿	谷地頭町2-5 函館八幡宮	函館八幡宮	H14.6.5
	ブラキストンの大形磨製石斧	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12
	高松凌雲の医療器具	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12
	五稜郭初度設計図	青柳町17-1 博物館	函館市	H20.10.8
	五稜郭平面図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	H20.10.8
有形民俗 文化財	コディアック・アリュート 3人乗皮舟 付かい3本	末広町21-7 北方民族資料館	函館市	S54.11.3
	木直稲荷神社 第1号～第6号棟札	木直町803 木直稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
	川汲稲荷神社 第1号～第4号棟札	川汲町861 川汲稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
	巖島神社 第1号～第6号棟札	白尻町151 巖島神社	宗教法人 巖島神社	S54.12.7
	ヲタハマ稲荷神社 第1号～第2号棟札	大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	成田 利雄	S54.12.7
無形民俗 文化財	安浦駒踊り	安浦町	安浦駒踊り保存会	S53.2.28
	木直大正神楽	木直町	木直大正神楽 保存会	S53.2.28
史跡	高田屋嘉兵衛碑	柏野町	函館市	S34.8.1
	日ノ浜遺跡	高岱町	函館市	S34.8.1
	北海道建網大謀網発祥の地及び記念碑	尾札部町2725	函館市	S53.2.28
	東エゾ箱館在六箇場所白尻会所跡	白尻町234-1	函館市	S53.2.28
名勝	恵山	柏野町	国	S34.8.1
	道南金剛	日浦町	国	S34.8.1
	賽の河原	柏野町	国	S34.8.1
天然記念物	恵山高山植物群	柏野町	国	S34.8.1
	恵山断層	柏野町117	函館市	S34.8.1
	イチョウの大樹	白尻町175 覚王寺	宗教法人覚王寺	S53.2.28
	「大船の杉」大樹	大船町526	函館市	S53.2.28
	旧白尻村役場のエゾヤマザクラ	白尻町119	函館市	H16.3.10

### 3 市立学校・幼稚園一覧

(小学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 弥 生	M15. 4. 1	村 上 一 典	23-5285	弥生町4-16	9	1	10
2 青 柳	H2. 4. 1	加 藤 潔	23-8348	青柳町22-13	9		9
3 あさひ	H14. 4. 1	佐 野 太 三	22-2181	大森町6-11	11	1	12
5 中 部	S53. 4. 1	沢 田 慶 一	22-2503	新川町30-26	6	2	8
5 北 星	S63. 4. 1	野 呂 孝 俊	41-3340	大縄町24-26	6	1	7
6 八 幡	S16. 1. 15	小 松 一 保	41-5245	八幡町15-30	12	1	13
7 万年橋	S2. 1. 10	今 福 一	42-0861	吉川町6-22	6	1	7
8 港	S22. 11. 8	溝 口 幸 司	41-5855	港町1丁目22-1	14	2	16
9 高 盛	S2. 4. 26	渡 邊 敬 夫	52-5168	高盛町17-1	7	2	9
10 千代ヶ岱	M6. 4. 9	花 田 謙	51-3061	千代台町10-7	6		6
11 中 島	S7. 12. 30	黒 丸 穰 二	52-1437	中島町30-5	7	2	9
12 千代田	S25. 1. 7	鎌 田 芳 樹	52-2518	梁川町23-4	6	1	7
13 柏 野	S3. 3. 2	伊 勢 昭	51-3877	松陰町5-10	12	2	14
14 金 堀	S31. 10. 1	平 馬 隆 司	51-1023	金堀町3-1	11	2	13
15 駒 場	S25. 4. 1	菊 池 守 晃	52-2364	駒場町1-6	12	2	14
16 深 堀	S46. 2. 1	熊 谷 光 洋	53-7822	深堀町14-2	12	2	14
17 日吉が丘	S39. 4. 1	三 島 千 春	51-7072	日吉2丁目34-1	12	2	14
18 北日吉	S50. 4. 1	林 潤 子	55-0924	日吉4丁目5-5	13	2	15
19 湯 川	M13. 9. 12	三 上 清 和	57-1759	湯川町3丁目42-1	12	2	14
20 高 丘	S51. 5. 1	鳴 海 裕	57-3381	高丘町3-2	12	1	13
21 上湯川	S45. 2. 1	品 田 晃 宏	57-2211	上湯川町295	6		6
22 旭 岡	S54. 4. 1	富 樫 廣 幸	50-2867	西旭岡町1丁目33-1	11	1	12
23 亀 尾	M25. 3. 3	木 村 元	58-4007	亀尾町28	3		4
24 鱒 川	M34. 5. 15	林 弘 明	50-2911	鱒川町91	3	1	4
25 東	S47. 4. 1	加 藤 正 男	58-2847	銭亀町339	6	1	7
26 石 崎	M13. 4. 2	佐 藤 洋 子	58-2525	石崎町438	3		3
27 桔 梗	M15. 11. 2	伊 藤 克 美	46-3607	桔梗1丁目13-2	17	2	19
28 中の沢	S42. 9. 15	山 田 幸 俊	47-1302	桔梗5丁目25-5	16		14
29 北昭和	S51. 4. 1	市 川 泰 子	45-1070	昭和4丁目38-1	12	1	13
30 昭 和	S40. 4. 1	鈴 木 祐 司	41-4964	昭和1丁目5-5	18	3	21
31 亀 田	M34. 2. 1	碓 幸 信	41-3370	富岡町1丁目18-1	12	6	18
32 赤 川	M13. 7. 30	筑 土 清 彦	46-3006	赤川町367	6	1	7
33 中 央	S48. 4. 1	戸 澤 和 彦	46-4910	美原2丁目28-1	12	2	14
34 北美原	S54. 4. 1	八 木 裕	46-1370	北美原1丁目9-16	22		22
35 鍛 神	M13. 4. 23	藤 井 良 江	51-4503	鍛治2丁目46-4	14	5	19
36 神 山	H7. 4. 1	後 藤 慎 一	32-7211	神山町233-1	14	2	16
37 東 山	S53. 4. 1	五十嵐 和 幸	53-5531	東山2丁目3-1	17	2	19
38 本 通	S46. 4. 1	鈴 木 洋 美	54-3223	本通1丁目47-2	12	1	13
39 南本通	S58. 4. 1	瀬 川 要 三	55-1281	本通3丁目10-1	11	1	12
40 戸井西	H10. 4. 1	山 本 直 樹	58-2554	小安町548-1	6	1	7
41 日 新	M13. 10. 18	佐々木 宏 二	82-2030	弁才町279-1	5		5
42 えさん	H16. 4. 1	土 谷 敬	84-2341	中浜町79	6	1	7
43 樞法華	M13. 4. 5	古 川 邦 彦	86-2051	新八幡町86-1	4	1	5
44 磨 光	M13. 12. 25	須 藤 由 司	63-2561	尾札部町1609-1	7	2	9
45 白 尻	M11. 11. 10	高 橋 政 弘	25-3059	白尻町595	4	1	5
46 大 船	M13. 12. 17	新 濱 美 喜子	25-3161	大船町24	5		5
小学校計					447	64	511

児 童 数			道 費 職 員				市 費 職 員				学 校 名
普通	特別 支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
229	3	232	1	14	1	16	1	2		3	弥 生
236		236	1	13	1	15	1	2		3	青 柳
267	1	268	1	16	1	18		2	4	6	あさひ
174	5	179	1	13	1	15		2	2	4	中 部
122	2	124	1	12	1	14		1	3	4	北 星
430	3	433	1	19	2	22	1	2	3	6	八 幡
156	3	159	1	10	1	12		2	2	4	万年橋
442	8	450	1	21	1	23	1	2	3	6	港
192	5	197	1	12	1	14	1	2	3	6	高 盛
131		131	1	10	1	12		2	2	4	千代ヶ岱
215	2	217	1	13	1	15	1	2	2	5	中 島
134	4	128	1	11	1	13		2		2	千代田
344	5	349	1	18	1	20	1	2	2	5	柏 野
272	2	274	1	17	1	19	1	2	2	5	金 堀
345	4	349	1	19	1	21	1	2	2	5	駒 場
291	6	297	1	19	1	21	1	2		3	深 堀
336	9	345	1	22	1	24	1	2		3	日吉が丘
423	5	428	1	20	1	22	1	2		3	北日吉
336	5	341	1	19	1	21	1	2		3	湯 川
327	3	330	1	17	1	19	1	2		3	高 丘
174		174	1	10	1	12		2		2	上湯川
260	1	261	1	17	1	19	1	2		3	旭 岡
35		35		6	1	7		1	2	3	亀 尾
15	2	17		6	1	7			1	1	鱒 川
122	2	124	1	10	1	12		2	1	3	東
24		24	1	6	1	8		1		1	石 崎
549	9	558	1	26	1	28	1	1	1	3	桔 梗
451		451	1	20	1	22	1	1	1	3	中の沢
362	5	367	1	17	1	19	1	2		3	北昭和
530	9	539	1	28	1	30	1	2		3	昭 和
302	39	341	1	25	1	27	1	2		3	亀 田
156	1	157	1	10	1	12		2	1	3	赤 川
343	6	349	1	22	1	24	1	2		3	中 央
732		732	1	30	1	32	1	2		3	北美原
439	26	465	1	28	1	30	1	2		3	鍛 神
400	5	405	1	22	1	24	1	2		3	神 山
476	2	478	1	26	1	28	1	2		3	東 山
357	1	358	1	18	1	20	1	1		2	本 通
252	2	254	1	16	1	18	1	2		3	南本通
70	1	71	1	9	1	11		1		1	戸井西
54		54	1	7	1	9		1		1	日 新
133	1	134	1	10	1	12		1		1	えさん
38	1	39	1	7	1	9		1		1	椴法華
159	3	162	1	12	1	14		1		1	磨 光
41	1	42	1	7	1	9		1		1	白 尻
47		47	1	7	1	9		1		1	大 船
11,923	192	12,115	44	717	47	808	27	77	37	141	小学校計



## (中学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 西	S52.4.1	内 城 明 良	22-2625	弥生町11-16	4	1	5
2 潮 見	S23.3.31	切 明 学	23-4295	青柳町10-7	6	2	8
3 宇賀の浦	H5.4.1	川 合 裕紀子	23-5295	大森町34-7	5	1	6
4 凌 雲	S57.4.1	矢 本 秀 美	51-5248	千代台町22-19	6	2	8
5 五 稜	S37.4.1	青 木 完 二	41-3458	田家町5-17	8		8
6 大 川	S22.4.1	蓮 本 裕 一	41-2775	大川町12-38	6		6
7 港	S32.4.1	毛 利 繁 和	41-5790	港町2丁目10-1	8	2	10
8 光 成	S23.4.20	信 夫 恵美子	51-5131	高盛町32-2	3		3
9 的 場	S22.5.1	藤 井 壽 夫	52-5108	的場町12-7	10	1	11
10 深 堀	S36.4.1	阿 部 憲 司	52-2682	深堀町28-1	12	1	13
11 湯 川	S22.5.1	阿 部 哲 治	59-2008	湯川町2丁目41-1	9	4	13
12 戸 倉	S48.4.1	青 木 昌 史	59-2141	戸倉町26-1	9	2	11
13 旭 岡	S56.4.1	東海林 清	50-3609	西旭岡町3丁目5	6		6
14 亀 尾	S22.5.1	木 村 元	58-4007	亀尾町28	3		3
15 鱒 川	S36.4.1	林 弘 明	50-2911	鱒川町91	3		3
16 銭亀沢	S29.4.1	安 達 克 佳	58-2542	豊原町140-30	5		5
17 赤 川	S55.4.1	高 橋 登	46-0486	赤川町125	14		14
18 桔 梗	S59.4.1	鈴 木 利 治	46-9990	桔梗町429-4	12		12
19 亀 田	S23.5.10	見 澤 敏 弘	46-3005	美原3丁目30-3	19	1	20
20 桐 花	S22.4.22	中 村 吉 秀	41-1332	富岡町1丁目18-2	9	3	12
21 本 通	S50.4.1	田 辺 信 之	55-3141	本通2丁目56-7	18	2	20
22 北	S57.4.1	播 磨 博 幸	56-0553	山の手3丁目58-1	9	1	10
23 潮 光	S27.4.1	工 藤 勉	82-2160	釜谷町227	3	1	4
24 日 新	S22.5.21	安 達 幹 彦	82-2061	泊町126	3		3
25 恵 山	H17.4.1	伊 藤 勝	85-2122	柏野町9	3	2	5
26 楸法華	S22.4.1	中 谷 満	86-2151	新浜町151-1	3	1	3
27 尾札部	S24.8.3	吉 田 稔	63-2762	尾札部町2023	3	1	4
28 白 尻	M22.5.1	鳴 海 康 司	25-3281	豊崎町205	3	1	4
中学校計					200	28	228

## (高等学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地
1 市立函館	H19.4.1	日 向 稔	52-0099	柳町11-5

## (幼稚園)

園 名	創立年月日	園長氏名	電話番号	所 在 地
1 はこだて	H15.4.1	外 山 信 子	22-4735	千歳町15-5
2 戸 井	H10.4.1	前 原 聡 子	82-3577	小安町523-7
幼稚園計				

生徒数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
107	3	110	1	11	1	13		2		2	西
196	5	201	1	16	1	18		2	3	5	潮見
137	2	139	1	12	1	14		2	2	4	宇賀の浦
194	11	205	1	16	1	18	1	2		3	凌雲
188		188	1	13	1	15	1	2		3	五稜
181		181	1	12	1	14		2	3	5	大川
240	2	242	1	18	1	20	1	1		2	港
96		96	1	11	1	13		2	3	5	光成
336	1	337	1	21	2	24	1	2	2	5	的場
367	1	368	1	24	1	26	1	2	2	5	深掘
323	18	341	1	22	1	24	1	1	2	4	湯川
317	3	320	1	21	1	23	1	2		3	戸倉
156		156	1	11	1	13		1	1	2	旭岡
17		17	1	8		9					亀尾
17		17	1	8		9					鱒川
116		116	1	11	1	13		1	1	2	銭亀沢
474		474	1	25	1	27	1	2	2	5	赤川
404		404	1	23	1	25	1	2		3	桔梗
662	4	666	1	35	1	37	1	2		3	亀田
291	16	307	1	22	1	24	1	1	1	3	桐花
607	3	610	1	36	1	38	1	2		3	本通
311	1	312	1	19	1	21	1	2		3	北
44	1	45	1	10	1	12		1		1	潮光
35		35	1	9	1	11					日新
78	3	81	1	12	1	14		1		1	恵山
41	1	41	1	10	1	12		1		1	緞法華
87	1	88	1	10	1	12		1		1	尾札部
62	2	64	1	11	1	13		1		1	白尻
6,084	77	6,161	28	457	27	512	13	40	22	75	中学校計

学級数	生徒数	校長	教員	実習助手	事務	用務	計	学校名
24	954	1	68	1	5	2	77	市立函館

学級数				園児数				園長	教員	事務	用務	計	園名
3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計						
2	1	1	4	12	34	34	80	1	5	1		7	はこだて
1	1	1	3	6	14	11	31	1	3		1	6	戸井
3	2	2	7	18	48	45	111	2	8	1	1	13	

#### 4 市内学校・幼稚園一覧（市立学校・幼稚園を除く）

学校種別	設置区分	学 校 名	創立年月日	校長等氏名
大学	国立大学法人	北海道大学水産学部・水産科学院・水産科学研究所	M40. 2. 1	嵯 峨 直 恆
	公立	北海道教育大学教育学部函館校	T3. 4. 1	鷹 澤 好 博
	私立	公立ほこだて未来大学	H12. 4. 1	中 島 秀 之
短期大学	私立	函館大学	S40. 4. 1	溝 田 春 夫
		函館短期大学	S28. 1. 31	上 平 幸 好
高等専門学校 高等学校	独立行政法人 道 立	函館大谷短期大学	S38. 4. 1	福 島 憲 成
		国立高等専門学校機構函館工業高等専門学校	S37. 4. 1	岩 熊 敏 夫
		函館中部高等学校	M28. 4. 1	小 林 雄 司
		函館西高等学校	M37. 12. 12	安 房 節 雄
		函館稜北高等学校	S58. 4. 1	山 本 貴 司
		函館工業高等学校	M44. 3. 25	青 木 一 明
		函館商業高等学校	M20. 1. 11	難 波 繁 之
		南茅部高等学校	S24. 4. 1	菅 野 昭 浩
	私立	戸井高等学校	S28. 4. 1	佐 藤 敏 行
		函館ラ・サール高等学校	S35. 4. 1	フェルミン・マルチネス
		函館大学附属有斗高等学校	S13. 9. 19	宮 岡 秀 昌
		函館白百合学園高等学校	M11. 5. 28	吉 田 めぐみ
		函館大谷高等学校	M21. 11. 13	丸 山 政 秀
		遺愛女子高等学校	M7. 1. 26	福 島 基 輝
		函館大妻高等学校	T13. 4. 1	池 田 延 己
		函館大学附属柏稜高等学校	S32. 4. 1	山 田 伸 二
		清尚学院高等学校	S5. 2. 22	土 家 康 宏
中学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館中学校	S22. 4. 1	相 田 幸 男
	私立	遺愛女子中学校	S22. 4. 1	福 島 基 輝
		函館白百合学園中学校	創立S23. 4. 1 再開H9. 4. 1～	吉 田 めぐみ
		函館ラ・サール中学校	H11. 4. 1	フェルミン・マルチネス
小学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館小学校	T6. 4. 1	根 本 直 樹
	私立	函館三育小学校	S55. 4. 1	小 原 義 信
幼稚園	国立大学法人	北海道教育大学附属函館幼稚園	S45. 4. 1	福 田 薫
	私立	函館藤幼稚園	S9. 10. 13	下 野 富美子
		元町白百合幼稚園	S36. 4. 1	須 田 光 子
		カトリック湯の川幼稚園	S32. 4. 5	長 内 由香子
		函館短期大学附属幼稚園	S41. 3. 18	高 橋 豊
		遺愛旭岡幼稚園	S57. 3. 26	野 田 義 成
		遺愛幼稚園	M28. 10. 1	野 田 義 成
		函館大谷幼稚園	S5. 1. 22	丹 藤 静 香
		花園大谷幼稚園	S49. 4. 10	長谷川 艶 子
		函館第三大谷幼稚園	S35. 7. 1	浅 井 睦 子
		国の華幼稚園（認定こども園）	S31. 10. 13	岸 田 千佳子
		龍谷幼稚園	S11. 4. 1	陰 山 正 憲
		函館ちとせ幼稚園	S26. 4. 1	小 林 博 子
		認定こども園総合施設 函館若葉幼稚園	S33. 3. 20	鈴 木 眞由子
		函館めぐみ幼稚園	S27. 11. 8	山 西 道 郎
		太陽の子幼稚園	S41. 1. 25	豊 田 千 春
		函館白百合学園幼稚園	S25. 4. 5	堀 優 子
		函館大谷短期大学附属幼稚園	S40. 4. 1	葛 西 真理子
		亀田ゆたか幼稚園	S47. 3. 2	佐 藤 篤 正
		第二太陽の子幼稚園	S52. 2. 28	豊 田 千 春
		函館ひかり幼稚園	S53. 12. 13	後 藤 秀 子
		函館あおい幼稚園	S54. 12. 7	永 井 純 子
		ききょう幼稚園	S54. 12. 7	川 村 兼悦郎
高丘幼稚園	S54. 12. 7	玉 利 達 人		
特別支援学校	国立大学法人	北海道教育大学教育学部附属特別支援学校	S51. 4. 1	小 栗 祐 美
	道 立	北海道函館盲学校	M28. 10	飯 森 宣 博
		函館聾学校	M28. 10	大井川 学
		函館養護学校	S54. 4. 1	高 橋 和 明
		北海道函館五稜郭支援学校	S54. 4. 1	石 川 大

電話番号	所在地	学級数	学生・生徒等数	教員数
40-5505	港町3丁目1-1		1,031	79
44-4411	八幡町1-2		1,394	74
34-6448	亀田中野町116-2		1,179	70
57-1181	高丘町51-1		456	28
57-1800	高丘町52-1		364	23
51-1786	鍛冶1丁目2-3		209	16
59-6300	戸倉町14-1	(本)25 (専)4	(本)1,042 (専)57	76
52-0303	時任町11-3	(全)18 (定)8	(全)713 (定)159	(全)56 (定)19
23-8415	元町7-17	(全)14	(全)565	(全)37
46-6235	石川町181-8	(全)14	(全)555	(全)34
51-2271	川原町5-13	(全)18 (定)12	(全)714 (定)113	(全)70 (定)34
41-4248	昭和1丁目17-1	(全)16 (定)4	(全)637 (定)90	(全)48 (定)10
25-3372	川波町1560	(全)3	(全)79	(全)14
82-2300	浜町717	(全)3	(全)66	(全)11
52-0365	日吉町1丁目12-1	17	540	35
57-1381	湯川町2丁目43-1	18	573	36
55-6682	山の手2丁目6-3	16	370	30
52-1834	鍛冶1丁目2-3	10	259	19
51-0418	杉並町23-11	20	588	34
52-1890	柳町14-23	13	447	29
51-1481	柏木町1-34	15	454	33
41-6584	亀田本町5-17	9	300	12
46-2233	美原3丁目48-6	9	355	17
51-0418	杉並町23-11	5	132	11
55-6682	山の手2丁目6-3	4	105	13
52-0365	日吉町1丁目12-1	9	350	16
46-2235	美原3丁目48-6	12	467	18
34-2115	桔梗5丁目26-1	5	33	5
46-2237	美原3丁目48-6	3	63	5
41-3569	宮前町26-6	6	118	12
23-3551	元町15-30	3	53	5
51-3046	駒場町14-10	5	82	8
51-2757	柏木町7-26	7	119	9
50-3308	西旭岡2丁目6-1	3	80	5
22-0419	元町4-1	3	53	5
23-2062	元町21-16	3	13	3
54-2640	花園町17-17	6	107	8
51-1674	千代台町10-10	3	38	4
51-0738	梁川町19-17	7	216	23
23-0274	東川町12-24	4	68	8
55-4182	松陰町9-7	7	153	15
42-4471	田家町9-30	6	115	8
47-1735	桔梗町433-43	6	161	9
41-1929	富岡町1丁目42-12	7	178	13
52-0945	山の手2丁目6-3	6	154	8
56-1038	本通2丁目18-6	9	199	13
41-6585	美原1丁目28-10	6	123	8
41-9345	亀田港町13-5	6	186	16
54-2220	神山3丁目52-8	6	156	9
46-1008	美原2丁目46-10	6	187	11
49-0313	西桔梗町218-43	9	286	20
57-3621	高丘町27-33	5	105	11
46-2515	美原3丁目48-1	(小)3 (中)3 (高)3	(小)13 (中)17 (高)25	27
42-3220	田家町19-12	(幼)2 (小)2 (中)1	(幼)2 (小)7 (中)3	18
52-1658	深堀町27-8	(幼)1 (小)3 (中)3	(幼)3 (小)6 (中)6	22
50-3311	旭岡町2	(小)13 (中)4 (高)10	(小)35 (中)12 (高)26	73
53-9395	五稜郭町39-13	(小)1 (中)4 (高)2	(小)2 (中)13 (高)13	25

## 5 社会教育関係団体一覧

団体名	代表者名	活動のねらい及び活動内容
函館市児童生徒水難防止協議会	佐藤 敬一	児童生徒の水難事故防止普及活動
函館市文化団体協議会	宍戸 雄一	文化団体の発展と市民文化の向上
函館市スポーツ少年団	白木 荘太	心身の鍛練とスポーツ少年団の育成
函館市体育協会	森川 基嗣	スポーツ団体を統轄し、スポーツ振興を図る
函館ハーフマラソン大会実行委員会	櫻庭 辰弥	地域住民の体力増進、健康維持を促進
渡島管内図書館振興協議会	八雲町立 図書館長	研修会の開催、管内図書館の連絡協調
函館啄木会	宮崎 郁子 岡田 弘子	石川啄木資料の永久保存と業績の顕彰
図書裡会	岡田 弘子	図書館所蔵の郷土資料複製叢書の刊行等、 図書館活動への寄与
市立函館博物館友の会	若山 直	博物館活動の普及発展への寄与
函館ユネスコ協会	関口 昭平	ユネスコ精神の推進と普及
函館市文化協議会	清水 信勝	函館市の文化向上並びに発展
研修終了生の会「これの会」	佐々木 尚孝	会員相互の研修親睦 青少年研修センターの運営協力
函館市青年サークル協議会	丸藤 競	親睦交流、研修会および活動の協力援助
函館市社会体育振興会	小泉 正勝	地域で活動する指導員の育成と実践
函館市ラジオ体操会	中村 弘	市民の健康増進のためのラジオ体操の普及と 発展
函館市民プール水泳振興会	小山内 稔	水泳振興を目指すため、指導者相互の研修と 研修協議を行う。
巴万泳会	佐々木 三郎	1万mを区切りとした体力づくり、持久力の向上 を目的とする。

## 6 社会教育施設利用グループ一覧

### (1) 函館市公民館グループ

グループ名	活動内容	代表者氏名	会員数	活動場所
月窯会	陶芸	梶原 朋子	12人	公民館
書道サークル やわらぎ	書道	大島 明子	8人	公民館
グループ パレット	絵画	西 恵美子	7人	公民館
生花 若草会 (小原流)	生花	平野 美枝子	5人	公民館
装美会	着付	倉内 淳子	16人	公民館
どろんこ会	陶芸	佐々木 孝子	15人	公民館
お貴楽倶楽部	陶芸	山田 栄治	9人	公民館
コーラスせせらぎ	合唱	小柳 智嗣	37人	公民館
ビードロの会	ステンドグラス	小林 武征	16人	公民館
釉遊	陶芸	渡辺 和義	20人	公民館

### (2) 函館市亀田公民館グループ

グループ名	活動内容	代表者氏名	会員数	活動場所
洋裁サークル	洋裁	梅田 幾子	8人	亀田公民館
和裁サークル	和裁	佐野 淑子	15人	亀田公民館
KMD絵画サークル	絵画	北山 節子	11人	亀田公民館
着付研究グループ 凜	着付	玉木 利代	8人	亀田福祉センター
キルトクラブ	パッチワーク	高松 美和子	21人	亀田公民館
絵手紙すみれの会	絵手紙	高森 教子	18人	亀田公民館
ちぐさの集い	ちぎり絵	富樫 通幸	6人	亀田公民館
萌えの会	ちぎり絵	一戸 操	8人	亀田公民館
若葉会書道サークル	書道	三品 恵子	13人	亀田公民館